

県NSH合同発表会が行われました！

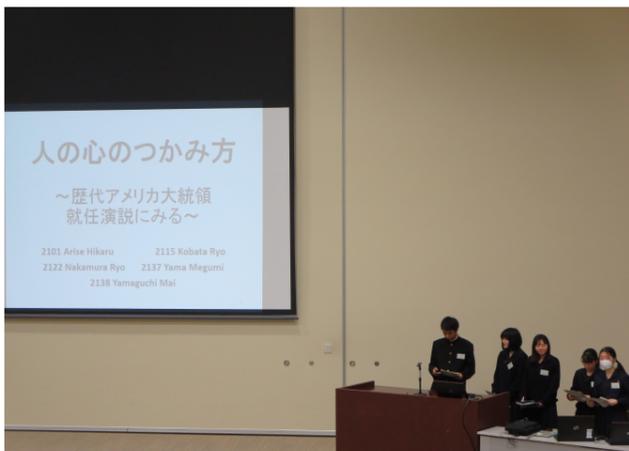
1月29日(火)

●1年間の研究の成果を、他校の生徒や先生方に見ていただきました！

年間を通して行われてきた研究の成果を、代表1チームがパワーポイントソフトを用いたスライド発表、7チームがポスターによる口頭発表を行いました。この地場産業センターには、計6つの高校が集まっており、それぞれが独自の研究を持ち寄りしました。

●代表チームは、大きなホールで全員が見つめる中、落ち着いて発表を終えることが出来ました！

代表チーム「人の心のつかみ方～歴代アメリカ大統領就任演説にみる～」の発表では、他校の生徒の「なぜその研究を始めようと思ったのですか」という質問に、「高校に入って自分の意見を話す機会が増え、どうすればもっと相手に伝わるのか、と悩んだことがある。この研究を通して効果的な話し方を学び、活かしたいと思った。また、自分の意見を伝えるという行為はこれからの社会に絶対に必要な力である。その準備としても有効だと考えた。」と答えました。落ち着いて質疑応答を行う姿に、このチームの研究の成果がすでに活かされているように感じました。



●他校の生徒に負けじと、自分たちの研究の成果や魅力を伝えました！

ポスター発表は今年度から参加チームの上限が増えたことにより本校は全チームが参加することができました。広いホール内には本校のものだけでなく他校の生徒のポスターも並んでおり、合同で口頭発表を行います。前半後半に発表時間が分かれていたこともあり、生徒たちは発表したり、他校の発表を聞いて質疑応答をしたりと動きながら、大変中身の濃い時間を過ごしました。発表自体は慣れてきている様子が見られ、どの班も非常にスムーズに行っていました。その後の質疑応答では、他校の生徒からの面白く鋭い視点の切り込みに戸惑う様子も見られましたが、1年間の研究によって学んだ知識や知恵を用いて、誠意を持って答えていました。また、他校の生徒の発表に積極的に質問する姿も見られ、生徒たちの物怖じしない姿に成長を感じました。



●生徒の感想

- ・自分たちの実力不足を感じました。他校の研究は実際に現地へ行き、研究や実験を行っていたのに比べると、自分たちの研究は文面上のことだけしか見ていなかったのだと反省しました。
- ・自分たちの研究がしっかりできていたことに満足しました。理由は、参考文献をしっかりと明記できていたし、質問に対しても、しっかり文献をもとに答えることができたからです。
- ・代表校の発表はどれも印象的でしたが、特に翠星高校の発表は課題研究の域を超えており、驚きと共に尊敬の念がこみ上げてきました。特に実際に利益を上げているのが信じられませんでした。発想の豊かさを感じました。
- ・ポスター発表では、題名が魅力的なものが多く、そこに見学者が集中していました。自分たちは研究をしっかりしていたのでそれを見ていただくためにも、今後は中身だけではなく、人を惹きつける題名の工夫の必要性を感じました。
- ・知識を知恵にするという、講評をいただいた先生の言葉が印象的でした。知識は十分に詰め込めたと思うので、それを活かした活動を今後は目指していきたいと思いました。
- ・ある高校の代表発表ではコントなども取り入れており、そこで更に観客を惹きつけていた。自分たちも観客を傍観させるのではなく、引き込むような発表の工夫も必要だと思った。

★「人文科学コース」今後の予定★

◎3月19日(火)文化発表会(小松市公会堂)